

自動車工学特論 レポート

機械知能工学専攻 16344217 津上 祐典

パワートレーンの課題としてエネルギー対応や二酸化炭素の削減，大気汚染防止が挙げられる．将来の自動車用のパワートレーンは省エネルギー，かつ二酸化炭素を放出せず環境に優しいものであるべきと思う．そのためには，水素もしくは電気で動作するようなパワートレーンの開発が必要と考えられる．その技術の課題として電気の場合，一回の充電での最高走行距離が短い，また補充に多くの時間を要することがあげられる．その課題を解決するためには，小さくても多く電力を蓄えることが出来るバッテリーの開発，また，省電力で多く走行できるパワートレーンの機構の開発が必要であると考えられる．また，急速に充電するシステムも必要だと考えられる．更に開発が出来た場合，電力補給場所（ガソリンスタンドの電気版みたいな）の普及が必要になってくると思われる．